

足・お尻の痛みが液)サポート骨で 劇的に改善したケース

大阪 順子

日本ホメオパシーセンター静岡島田

JPHMA認定ホメオパスNo. 1034

ZENメソッド習得No. 0470



症状



クライアント 70代 女性

お尻から太ももにかけて、ヒュッと力が抜けるような痛みがある。

特に動作の始め、起床時、椅子から立ち上がる、
歩くため足を踏み出す時などに痛みが強く、
前かがみになり
休み休みでないと歩けない。



タイムライン



- 27歳 結婚し夫婦でコーヒー屋を開店
- 47歳 カレー屋を開店。
開店後2年間は毎日とても忙しかった。
- 49歳頃 I型糖尿病を発症。
- 70歳頃 高熱が続き、1か月半肺炎で入院。
⇒間質性肺炎でステロイド治療を継続中
- 74歳 旦那さんが亡くなり閉店。
- 75歳 姉が亡くなる。
- 76歳頃 股関節に痛みが出るがマッサージで改善。
- 78歳頃 お尻から太ももにかけてヒュッと
力が抜けるような痛みが出る



病院での診断



骨密度は同年代平均よりは上だが、若い成人よりも低下が目立つ(特に大腿骨)
この足の痛みは軽い骨粗しょう症による変型性股関節症であって自然には治らないので、いずれ手術しかないが、それまで湿布とか痛み止め(副作用あり)で我慢するしかない。



糖尿病で骨密度低下のリスクが高まります。
またステロイドも長期使用で骨粗しょう症のリスクが高くなります。



レメディー選択（1回目）



277# 1. 部位 - 下肢 - 臀部(尻) :

280# 1. 部位 - 下肢 - 大腿部 : - 後面 :

2046# 4. 基調 - 運動(動作、動き) - しはじめに: 比較
立ち上がる :

944# 3. 全般 - 締め付ける(および収縮する)

979# 3. 全般 - 下方へ落ちるか外れる(脱出する)感覚、
内側部分の

1246# 3. 全般 - 骨(および骨膜)全般 -
化膿(悪化する; カリエス、潰瘍形成)の



レメディー選択（1回目）



随時 液)サポート骨+ Ign .6C

朝 Caust. LM01

昼 Nat-m. LM02

夜 Con. LM03

随時 粒のコンビネーションレメディー
(Calc-f 9X,Kali-p 9X,Kali-s 9X,Nat-p 9X)

随時 液)サポート筋肉腱靱帯
痛みが出たときに塗布



選択の根拠



液) サポート骨 + Ign. 骨、夫や姉を亡くした悲しみ

Caust. 腱炎 神経の問題

Nat-m. 深い悲しみ 母親への想い

Con. TBR第一位

Calc-f. 骨の変形

Kali-p. 痛みの緩和、筋肉の衰弱

Kali-s. 老廃物の排出

Nat-p. 骨や関節の障害



結果



レメディーをとり始めて10日後、痛みは全体として2/3程度に軽減。
お尻の痛みは軽くなり、太ももの痛みはふくらはぎに移動した。

その後、液)サポート骨が無くなった途端痛みが復活。液)サポート骨を再度購入して飲み始めたところ、その日の夜には痛みが軽減した。



結果



4回の相談会で選択したレメディーをとった結果、お尻から足の痛みは9割以上改善。

少しお尻の痛みとふくらはぎに張りを感じるが、普通に歩くことができるようになった。



考察



初回のレメディー摂取後に痛みが改善したのは液)サポート骨のおかげであることが明確にわかった。

クライアント様はステロイドやインシュリンを長い期間にわたって摂取しているので、レメディーの効果が出るのに時間がかかるのではないかと思ったが、速やかに改善がみられたケースでした。



ご清聴ありがとうございました。

日本ホメオパシーセンター静岡島田

<https://ameblo.jp/strawberrymoonjosaka/>

<https://www.r-homoeopathy.com/>

